

AIRA PRESS

今回の
フォーカス

厄介モノ、海のジビエがメニューに
錦江湾エイが学校給食デビュー

1

2020 (R2)

そのほかの行事・イベント

1. 加治木・蒲生両地域の拠点となる庁舎へ
基本計画検討委員会を一般公開
2. 川内原発、放射性物質放出を想定
U P Z 避難住民の受け入れ訓練
3. 加治木駅伝競走大会、108チームが疾走
加治木を舞台にタスキをつなぐ



いこもちを題材にした「ばあちゃんすい〜つ」のCM
ができました。市内のおばあちゃんたちがつくる昔なが
らのお菓子にほころ。YouTubeでも公開中です。



日時 令和2年1月21日(火) 午前10時~
場所 始良市役所本館2階 市長室

次回は、2月10日(月) 午前10時~ 始良市役所本館2階 大会議室

厄介モノが「海のジビエ」メニューに 錦江湾エイが学校給食デビュー

主催 市特産品協会

1月24日(金)

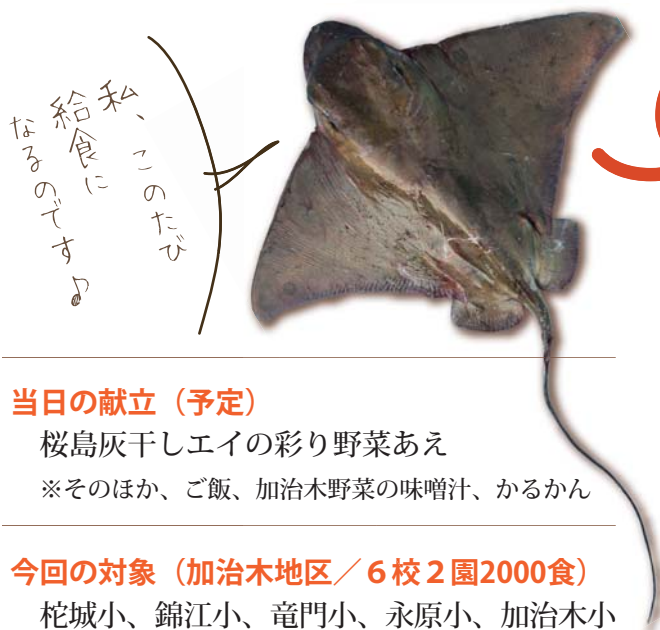
加治木小学校
6年1組・2組
／12:25～13:10

錦江湾の厄介モノとして駆除の対象となっているエイ。始良市では昨年から本格的にこのエイの活用に取り組んでいます。

昨年9月、始良公民館で実施した錦江湾エイの試食会以降、始良市特産品協会が市内飲食店6か所と協力してメニュー化しました。そして今回、試験的に加治木地区の公立小・中学校と幼稚園、あわせて6校2園の給食食材として献立に加えます。

報道限定の公開給食を1月24日(金)の12時25分から加治木小学校で実施します。

子どもたちの反応が楽しみです。当日は取材前に学校事務室で受付をお済ませください。



当日の献立(予定)

桜島灰干しエイの彩り野菜あえ

※そのほか、ご飯、加治木野菜の味噌汁、かるかん

今回の対象(加治木地区／6校2園2000食)

柁城小、錦江小、竜門小、永原小、加治木小
加治木中、加治木幼稚園、錦江幼稚園

給食時間(12:25～13:10)

12:25～12:35 給食室から運搬
12:35～12:45 クラスで配膳
12:45～13:10 実食・片付け



画像はイメージです



お問合せ

商工観光課企業商工係・大迫 ☎0995-66-3145(当日は☎090-6297-4013)

加治木・蒲生両地域の拠点となる庁舎へ 基本計画検討委員会を一般公開

主催 始良市

第1回委員会
2月2日(日)

10:00～／始良本庁2号館
3階委員会室

令和5年度の建て替えをめどに本庁舎建設事業を進めています。現在本庁舎周辺では地盤を調べるボーリング調査を実施しています。

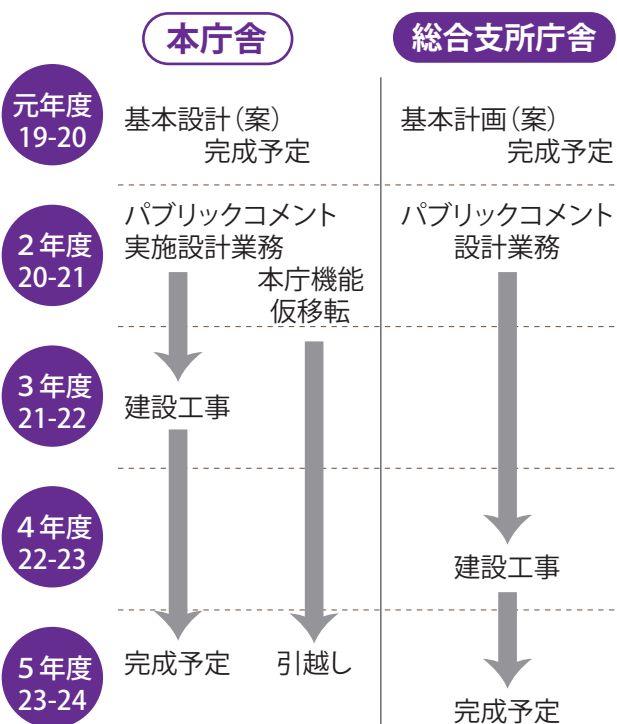
一方で加治木・蒲生の両総合支所の建て替え事業も並行して取り組んでいます。総合支所庁舎は来年度から設計業務に入り、本庁舎同様令和5年度内の完成をめざしています。

今年2月から両総合支所庁舎の基本計画づくりにむけた検討委員会を3回開催予定。すべて公開します。委員はコミュニティ協議会や市議会、各種公共団体の代表者、学識経験者など15人を市が委嘱。市民参加のワークショップや地域懇話会を踏まえた基本計画の素案を軸に検討し、今年度中の策定を見込んでいます。



着工は本庁舎が令和3年度中、加治木・蒲生両庁舎が令和4年度中を予定。画像は昨年8月に実施した加治木総合庁舎整備に関するワークショップの様様

これからの流れ



地域拠点の要素含んだ総合支所へ

生まれ変わる総合支所は、本庁がもつ行政や防災機能のほか、主に次の3要素を合わせもつ施設として整備を進めます。

1. 地域の維持・発展を支える「にぎわい拠点」
2. 商店街や麓集落など、地域素材の活用連携・調和による「まちづくり拠点」
3. 様々な世代が集まり、ともに学び交流できる「多世代交流施設」

総合支所庁舎建設基本計画の策定検討委員会

開かれた委員会をめざして会議を公開。

- 第1回委員会 2月2日(日)
委嘱状交付、市長から委員長へ諮問、協議
- 第2回委員会 3月8日(日) 予定
協議
- 第3回委員会 3月22日(日) 予定
協議、委員長から市長へ答申

※いずれも10:00～／本庁2号館3階委員会室

お問合せ

行政管理課庁舎建設係・坂元 ☎0995-66-3075

これまでの主な流れ

●平成26年11月～ 新庁舎建設庁内検討委員会

複合新庁舎の建設に関する必要な事項について調査検討するため、副市長・教育長・部長級で構成する委員会を設置し、随時会議を開催。

●平成29年5月～平成30年1月 始良市複合新庁舎建設検討委員会（10回）

複合新庁舎建設に係る基本構想及び基本計画策定に関する事項などを審議するため、市長の諮問機関（学識経験者や公共的団体等の代表者などで構成する委員会）を設置。

●平成29年8月 市民説明会【第1期】（5会場5回開催）

始良市複合新庁舎建設検討委員会からの中間報告を受け、事業概要などを市民へ説明。

●平成29年9月 市民アンケート

現在の庁舎の利用状況や新庁舎に求められる機能等を把握するために18歳以上の市民3,000人を対象に実施。

●平成30年2月 市民説明会【第2期】（6会場7回開催）

基本構想・計画（案）について市民説明会。

●平成30年2月 基本構想・計画策定に関するパブリックコメント

基本構想・計画の策定についてパブリックコメントを実施。

●平成30年8月 複合新庁舎建設基本構想・基本計画の策定

複合新庁舎建設検討委員会からの答申、パブリックコメントを経て策定。本庁舎・加治木・蒲生総合支所の建設に係る基本構想と本庁舎の基本計画をまとめる。

●平成30年9月 複合新庁舎建設事業のリーフレットを全戸配付

事業の概要等をわかりやすくまとめたリーフレット（広報紙9月号号外）を全戸配付。

●平成30年7月～11月 子どもたちが描く庁舎絵画コンクール

市内小・中学生を対象に夏休みの自由課題として未来の庁舎と現在の庁舎2つのテーマで実施。11月に表彰式と受賞した子どもたちによるパネルディスカッションを実施。

●平成30年12月 総合支所庁舎の整備に関する市民ワークショップ（1回）

加治木・蒲生総合支所庁舎の建設に向け、地域のこれまでを振り返り、解決すべき課題や活かすべき資源について話し合い、それらを踏まえた支所のあり方を検討。加治木・蒲生それぞれ1回開催。

●令和元年5月 本庁舎の設計事業者の選定

本庁舎の設計事業者をプロポーザル方式により選定。

●令和元年6月 総合支所庁舎の基本計画等策定支援業者の選定

総合支所庁舎の基本計画等策定支援業者をプロポーザル方式により選定。

●令和元年8月 総合支所庁舎の整備に関する市民ワークショップ（3回）

平成30年の市民ワークショップを踏まえ、支所の機能などについて加治木、蒲生それぞれ3回開催。

●令和元年11月 総合支所庁舎建設地域懇話会

市民ワークショップなどの意見を参考に作成した基本計画書（たたき台）に対して意見・助言をいただくため、加治木・蒲生それぞれ1回開催。

川内原発、放射性物質放出を想定 U P Z 避難住民の受け入れ訓練

主催 県原子力安全対策課

2月9日(日)

- 災害対策本部会議訓練
7:00～12:00／本庁大会議室
- U P Z 住民避難訓練
14:30～15:30／始良公民館

大規模地震が薩摩川内市で発生し、川内原発から放射性物質が放出されているという想定でU P Z 圏内の自治体などが訓練を実施します。

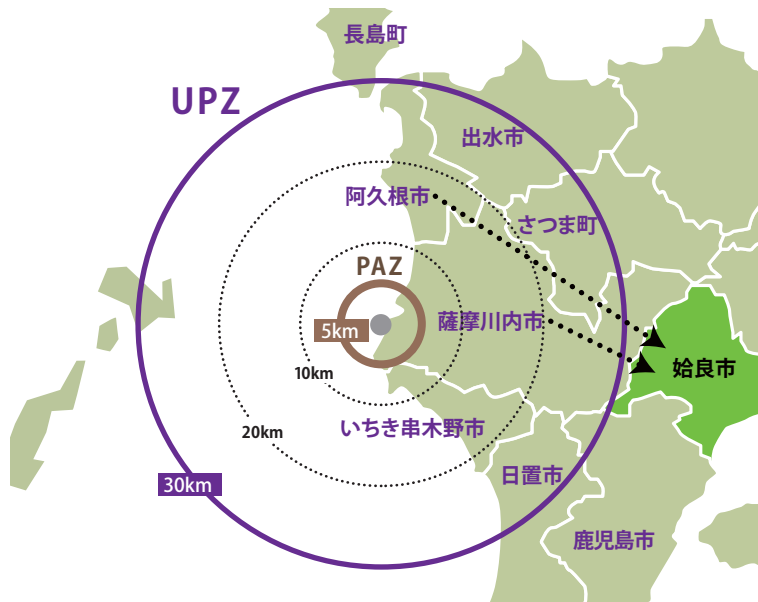
午前中は関連自治体同士がテレビ会議により被災状況や避難要請などの伝達訓練をし、午後からはU P Z 圏内に住む住民たちが実際に避難します。

当日は薩摩川内市と阿久根市の一部住民たちが始良市までの避難経路や避難施設を見学します。本市では避難住民の受け入れ体制の確認をはじめ、健康相談や誘導などの運営訓練をします。



画像は 2012 年に始良公民館で実施されたスクリーニング（汚染検査）の様子。今回の訓練では受付や健康診断、備蓄物資の展示をする。検査は宮之城運動公園（さつま町）で実施される。

川内原発のU P Z 圏図



原発から概ね5～30km（UPZ）圏内の地区住民は事故の進展に応じて、県と関連自治体が事前に調整・定めた公共施設などへ避難する。始良市の公共施設約60か所も原発事故時には薩摩川内市と阿久根市2市43自治会（集落）に住む1万3,893人の避難施設に指定されている。

本市訓練の概要

- 災害対策本部編
7:00～12:00／本庁2階大会議室
県や市、関連機関がテレビ会議システムを介して事故後の連携・協働に取り組む。
7:00に本部関係者参集、8:00に本部設置。
- U P Z 住民避難編
14:30-15:30／始良公民館
U P Z 圏内に住む住民が実際の避難施設へ避難する訓練を実施。当日は薩摩川内市亀山地区と阿久根市赤瀬川地区の住民がそれぞれ始良公民館に避難します。
途中、被ばく検査・除染場所に指定されている宮之城運動公園（さつま町）を経由する。公民館では14:30頃、2市の住民約80人がそれぞれ到着。受付や健康相談のほか、備蓄物資展示を視察する。

UPZ

Urgent Protective action planning Zone
（緊急防護措置を準備する区域）

お問合せ

危機管理課防災係・鉛山 ☎0995-66-3063

加治木駅伝競走大会、108チームが疾走 加治木を舞台にタスキをつなぐ

主催 市・市教育委員会・大会実行委員会

1月25日(土)

加音ホール周辺

開会式 8:30

女子 9:30～ 男子 10:50～

※小雨決行



今年53回目を迎える伝統の駅伝大会です。年齢などに応じて2コース6部門(クラス)にわかれ、小学校3年生から高齢者までのランナーが加治木の須崎エリアを走ります。

加音ホール周辺からスタートし、海岸沿いを2周し、同ホール正面玄関前がゴールとなっています。

大会を通じて若い世代の健全育成や市民の健康づくり、仲間づくりを推進し、市の活性化と明るいまちづくりにつなげます。

●スタート

女子コース 9:30

男子コース 10:50

●ゴール

女子コース 10:05～10:40

男子コース 11:25～12:00

●参加者

108チーム861名(監督・補欠含)



お問合せ

保健体育課スポーツ振興係・松山 ☎ 0995-62-2111 内線 234

東川隆太郎

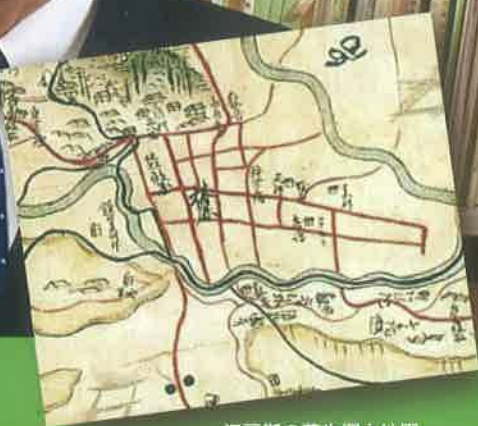
NPO 法人かごしま探検の会
代表理事

原口 泉

志学館大学教授
鹿児島県立図書館長



カモコレ・プレミアム企画
Kamou Collection Premium



江戸期の蒲生郷古地図

原口泉先生&東川隆太郎さん講演会

「蒲生麓の魅力をとことん語る」

薩摩藩では、鹿児島城（内城）の城下だけでなく、藩内各所の麓（外城）に武家屋敷群が点在し、藩全体の防備を固め、また多くの武士を抱える仕組みになっていました。数ある麓の中で美しさでも名高かった蒲生麓を切り口に、お二人に熱く楽しく語っていただきます。薩摩の武士が生きた時代にタイムスリップしてみましょう。

蒲生の御仮屋文書は、実はスゴイ！

2月8日(土)

14:00～16:00 入場無料・申込不要

会場 蒲生公民館 始良市蒲生町白男 347 map B-4

問合せ 蒲生ふるさと交流館 0995-52-0115

主催 「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会

共催 蒲生郷ブランディング協議会、日本遺産「蒲生麓」プロジェクト

斉彬公が蒲生に来た時の様子が御仮屋文書（役所が日々の業務やできごと等を書き残した書類）に書かれていると知り、実物を見たくて始良市歴史民俗資料館を訪ねた。御仮屋文書は県全体的には消滅しているところが多く、良い状態で多数保存されている蒲生御仮屋文書は大変貴重で鹿児島県指定有形文化財になっていた。当時の人々の暮らしが分かり面白いと言われる御仮屋文書。達筆すぎて読み取れないが、さて、それはどんな内容なのか？知りたくてたまらない！

Lab 蒲生郷 日本遺産取材チーム

蒲生御仮屋文書とは？

明暦4（1658）年から大正時代までの総点数 1180 点の史料群。江戸から大正にかけての鹿児島の歴史を知るためには不可欠の史料群と言われる。（鹿児島県ホームページより）



※始良市教育委員会所蔵

内容

- ①オープニング・太鼓踊り
- ②日本遺産って何？麓って何？（東川隆太郎）
- ③蒲生麓カモコレの取り組み・構成文化遺産紹介（Lab 蒲生郷）
- ④講演会『蒲生麓の魅力をとことん語る』（原口泉・東川隆太郎）